



取手市を上から撮影

●第六次取手市総合計画の基本構想を定めること…可決

〔討論〕

遠山議員：どういうまちを
目指すのかつかみにくい。

前計画にあった家賃補助
制度が削除された。また、
農業や商店、中小企業支援
よりも農地の集積、大規模
企業支援に力を入れる施策
は納得できない。反対。

吉田議員：これまでの計画
と全く違い、新しい考え方
で先進的。総合計画に基づ
くまちづくりを進め、さら
なる発展を期待。賛成。

染谷議員：市長のマニフェ
ストと連動させ、重点的に
取り組むテーマを明確にし、
重点施策・事業を定め、選
択と周知を行い実効性があ
る。社会状況の変化に速や
かに対応できる計画。賛成。

飯島議員：計画を立てて終
わりでは持続可能な自治体

6つのまちづくり基本方針

- ・健やかで、安らぎと温もりのあるまちづくり
- ・豊かなところと個性を育むまちづくり
- ・活気と魅力あふれる元気なまちづくり
- ・都市と自然が調和した環境のまちづくり
- ・快適で、安心できるまちづくり
- ・自主・自律、未来をひらくまちづくり

運営はできない。計画の基
本構想をもとに、市長、副
市長を筆頭に職員が一丸と
なり豊かな営みを守り育て
ていくことを求める。賛成。

池田議員：基本構想の将来
都市像が実現すれば、高齢
者や子どもなど誰もが住み
やすいまちになる。特に自
然環境の適切な保全、管理、
活用してほしい。賛成。

関戸議員：これまで貴重な
自然環境が次々に奪われて
きた。家賃補助制度は10年
後、20年後を考えたときに
大事な施策。この基本構想
では不十分。反対。

市村議員：既に豊かな自然
と恵まれたインフラ環境整
備が整っている。PRを強
力に推進して取手の発展を
実現してほしい。賛成。

結城議員：駅周辺地区の拠
点向上等、都市機能の集積
を含めて道路や公園などの
魅力ある都市空間整備を進
めることを評価する。賛成。

議員提出議案

●取手市議会基本条例の一
部改正（会派の構成人数は
2人以上とするもの）…可
決

〔提出者〕
赤羽議員他5人

●取手市議会基本条例の一
部改正（会派の構成人数は
1人以上とするもの）…否
決

〔提出者〕
池田議員他3人

〔討論〕
結城議員：議会基本条例制
定時に1人も会派として尊
重し、少数意見も大事にし
ようという話し合いの経緯
があったはず。1人は団体
ではないという問題は条文
を変えればよい。条例の目
的に沿って運用されていた
か検証すべき。会派を2人
以上とすることに反対。

飯島議員：多様な意見をど
う集約、発展させていくか
という視点を大切にすると
らば、1人の議員活動を会
派という安易なくくりで妨
げてはいけない。会派を1
人以上とすることに賛成。

遠山議員：今までの議会運
営で1人会派を認めていた
が、何ら不都合はなかった。
取手市議会の議会改革を
さらに進めたい。会派を1
人以上とすることに賛成。

●政治倫理条例の一部改正
取手市政治倫理審査会
の会議を、原則公開とする
もの。

●議会会議規則の一部改正
議会における質問の方法
は全て一問一答の方法のみ
とするもの。

●議会委員会条例の一部改
正

市議会議員定数の減に伴
い、常任委員会の定数を改
正するもの。

※いずれも原案可決・提出
者は赤羽議員他7人

意見書

●消費税10%への再増税中
止を求める意見書…可決

〔提出者〕
遠山議員他2人

〔討論〕
加増議員：増税によって国
民の負担増は確実。国民に
負担を押し付け、大企業だ
け減税するのがアベノミク
スの正体。賛成。

●「平和安全保障関連法」
の廃止を求める意見書…可
決

〔提出者〕
鈴木議員他4人

〔討論〕
平議員：沖縄県にのみ負担
を強いる日米安保体制は正
常といえるのか。全国民が
考えるべき問題。賛成。

小池議員：紛れもなく憲法
違反の法律。選挙で多数を
とれば何をやってもいいと
いうのは独裁政治への道ぞ
いのもの。賛成。

●環太平洋連携協定（TP
P）交渉撤退を求める意見
書…否決

〔提出者〕
関戸議員他2人

〔討論〕
加増議員：安倍政権の交渉
姿勢は国会決議さえ踏みに
じるもので、国民無視の暴
走。食と安全を脅かし、経
済と暮らしに深刻な影響を
及ぼす。賛成。

平議員：グローバル化が進
められ、私たちは全て大企
業に持っていわれてしま
う。民意を反映しない議員
が権力を握っているのは明
らか。賛成。

●HPV研究促進を求める
意見書…可決

〔提出者〕
石井議員他6人

〔意見書概要〕
HPV（ヒトパピローマ
ウイルス）は、男女共に感

染するウイルスで高リスク
型は子宮頸がん等の原因と
されている。女性への検診
は実施されているが、女性
だけが検診をしているため感
染サイクルは終わらない。

男性への検診方法の確立
やHPV根絶に向けた研究
促進を国に求めるもの。

決議

●情報管理の徹底を求める
決議…可決

住民票へのマイナンバー
誤記載事故後、適切な情報
管理がされていない状況が
判明した。再発防止のため
情報管理の徹底を求める。

〔提出者〕
金澤議員他5人

〔討論〕
関戸議員：人的配置も含め
て情報流出を抑えるための
措置が必要だが、そもそも
担当課で管理は無理。決議
を出すよりマイナンバーを
やるべきでない。反対。

市村議員：マイナンバー誤
記載事故はシステムの更新
作業で起きた問題。検証作
業の必要性を広く職員に理
解させ、管理体制システム
構築を。賛成。

平議員：マイナンバーの情
報漏えいにより、罪に問わ
れる可能性があるためあれ
ば、初めからそのようにう
たわられるべき。法律で新た
に締め付けられる。反対。